



KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 第12号

発行元

学校法人加計学園広報室
岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8609

ひとりひとりの若人が持つ
能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校・御影インターナショナルこども園

「探究ゼミ」「教育ボランティア」一人間力アップに多彩なメニュー

即戦力の人材養成に全力 教育学部4月スタート

岡山理科大学で4月、教育学部がスタートします。「探究ゼミ」「教育ボランティア」などの多彩なメニューが用意され、教員免許取得だけでなく、一人ひとりの能力をアップし社会に出て即戦力となる人材を養成しようというのが他大学にはない大きな特長です。理科教育のスキル獲得を盛り込んでいるのも理科大ならではの構成。教育学部の魅力とともに、新学部にかける意気込みを紹介します。

学部は、小学校教諭を目指す初等教育学科の小学校教諭コース（70人）、中学・高校教諭を目



9階・10階
教育学部フロア

指す中等教育学科の国語教育コース、英語教育コース（各30人）で構成。教員陣は計20人で、うち11人が小中高校の教諭経験者という現場重視の布陣です。

自分たちで課題解決

「探究ゼミ」は必修科目で

両学科とも3年まで隔週で週に1回実施。5〜6人の班に分けて、1年生は「大学生としてどう生きるか」、2年生は「どうやって学びを深めるか」、3年生は実社会に旅立つ前に「出口に向けてどうするか」をテーマに自分たちで課題を見つけ、自分たちで結果を出していきます。災害現場のボランティアに行くもよし、駅頭で募金活動もよし、他班との連携も可能という自由なゼミで、大学における学生の居場所づくりともしたい考えです。

分析・表現力をスキルアップ

また「教育ボランティア」は両学科の2年生で実施します。たとえば、「NPO法人・岡山市子どもセンター」などでスタッフとして活動。NPO職員はじめ子どもた

ち、保護者らとしっかりと人間関係が構築できる人材を育成するのが目的です。

さらに両学科の2年生に設定された必修科目の「現代教育課題研究」と「現代教育課題研究」では、5人の教員が交代で教育社会学、学校運営など教育のさまざまなトピックスについて課題を与え、学生たちがレポートにまとめるという作業を繰り返します。これで分析・表現というスキルが身に付きます。

科学ボランティアも

このほか、初等教育学科1年生は理科大の社会貢献として評価の高い「科学ボランティア」活動にも取り組みます。実際に現場に出て子供たちと接することで、社会性も養おうというのが狙いです。担当の高原周一教授は「理科の楽しさを伝えることができる教員を養成

成したい」と張り切っています。

体験通じて 教育の問題感じて

こうした対外的な活動を通して「教育実習先を自分で開拓」してもらうこともも期待を寄せています。

教育学部長に就任する山中芳和教授は「教員免許取得は大きな目的ですが、『やはり自分は教職に向いていない』と思えば免許状を取得しなくても卒業できるようになっていきます」と説明。新学部のあるべき姿について「座学だけでなく、体験することを通じて子供や地域と触れ合い、その中から教育の問題を肌感感じいき、それを自分の研究や学びの中心的なテーマに発展させてもらえたらうれしい。そんな人材を養成するため力を尽くしていきたい」と話しています。

山中芳和・新学部長の略歴



1948年三重県生まれ。

広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。専門は教育史を中心とした教育学。

岡山大学で32年間教員養成に携わり、岡山大学教育学部附属小学校・同中学校校長などを歴任。2014年度から岡山理科大学教育学部設置準備室長。岡山大学名誉教授。

岡山大学で32年間教員養成に携わり、岡山大学教育学部附属小学校・同中学校校長などを歴任。2014年度から岡山理科大学教育学部設置準備室長。岡山大学名誉教授。

4月1日付で岡山理科大学と千葉科学大学の学長に就任する柳澤康信・前愛媛大学長と木曾功・内閣官房参与の略歴を紹介しします。任期は4年間でず。
(文中敬称略)

岡山理科大学 新学長



柳澤 康信
(やなぎさわ・やすのぶ)

1947年12月16日、富山県生まれ。76年京都大学大学院理学研究科博士課程動物学専攻単位取得退学、81年理学博士(京都大学)、96年愛媛大学理学部教授。2002年愛媛大学理学部長、04年愛媛大学学長特別補佐、05年愛媛大学理事、09年4月から15年3月まで愛媛大学学長。専門は生態学(行動生態学)。

千葉科学大学 新学長



木曾 功
(きそ・いさお)

1952年2月11日、広島県生まれ。75年東京大学法学部卒業、81年イェール大学経営大学院修了・MBA(イェール大学)、76年文部省入省、98年広島県教育長、2002年文化庁文

トップによる抱負

1月5日の年始研修会で各設置校トップが述べた「今年の抱負」を紹介しします。

100周年に向けた 新たなスタート



岡山理科大学
波田 善夫学長

50周年記念の最大の行事であるA1号館が3月に完成する。4月に教育学部が出来ることで、自然科学、社会科学、人文科学の三つのサイエンスがそろい、総合大学への道を着実に歩んでいる。教育学部に続いて、経営学部なども検討されており、さらに大きく発展していく新たな50年へ向けたスタートの年になる。一方で、50年前に岡山理科大学をつくった方々に育てられた第2世代が大量に定年を迎える。教育に関する態勢も非常に大きく変わる1年だと思っている。私も愛媛大学の前学長の柳澤康信さんと交代する。国立大学の目から見た新たな視点で引っ張って行ってもらえたらと思う。

「不易流行」で改革



倉敷芸術科学大学
河野 伊一郎学長



千葉科学大学
赤木 靖春学長

今年4月には13年目に入る。13年目の千葉科学大学が急いでやるべき最も大きな仕事は教育の仕方の見直し、改革だと思っている。大学基準協会による2回目の外部評価を平成29年度に受けることになっている。その準備を28年度に行って自己点検の書類をつくり、29年の1月に提出するというスケジュールになっている。環境も変わる。それに従って柔軟に対応していかなければならぬという意味だ。20年間を反省して、変えるべき所は変えないといけない。学生を立派な社会人に育てるのが私たちの使命。それを肝に銘じてもらいたい。現在、新しい学部の創設に向けて検討を重ねている。他にも改革すべきことは多いが、勇気をもって新しい大学をつくるぐらいの気概で、取り組んでいきたい。

教育の見直しと改革急務

いう内容で、どう教育していくか、に取り組むのも今年の仕事である。私は3月に学長を去り、新しい木曾

功学長が主導されることだが、私も出来るだけ協力したいと思っている。

4つのバランスを取り直す



●岡山理科大学附属高等学校
宮垣 嘉也 校長

四つのバランスというところでやってきた。まず「文武両道」のバランスを取り直し、進学という「文」をもっと強めていく。4年制の大学に進む生徒は現在50%。それを70%まで高めていく。次は男女比率。女子は平均25%。やはり40%ぐらいにはしたい。3番目は文理のバランス。理系というイメージが強いため、文系の生徒も来るといふ雰囲気をつくりたい。4番目は教員構成。現在は50代の教員が多い逆ピラミッド型。退職者を補充していく形で

附属独自の学校づくりを進める

平成14年に開校して以来、定員80に対し平均46.3人

ということ、苦戦している。就実、清心、金光学園、



●岡山理科大学附属中学校
河村 定彦 校長

山陽女子といった伝統校が強いのもその一因だ。偏差値はスーパー選抜クラスが上位陣に食い込んでいるものの、非常に高低差がある。進路は多様で、中高一貫と言いつながら附属高校だけでなく、公立高を始め、他の私立高に進学している生徒がいる。成績上位の生徒が出ていくと思われがちだが、成績に関係なく、いろいろな層から一人ずつ出ているような形だ。岡山には岡大付属を除いて中高一貫

校が14校もある。その中で生き残るために、他の中高一貫校にない理大附属独自の学校づくりをしていく。それを今計画している。多様な進路希望に応じられる体制が1番。2番目は科学部、ロボット研究部、カルタ部、書道部、美術部、将棋部といった文化系の活動に力を入れていく。こうした対策で新しい学校づくりを開拓していきたいと考えている。ご支援をお願いしたい。

新たな高等教育機関を視野に



●岡山理科大学専門学校
村岡 正校長

職業実践専門課程という文部科学大臣の認定を昨年2月、建築学科の昼間部、動物看護学科の2年制と3年制、そしてアクアリウム学科が受けた。建築学科の

夜間部も申請したが、ハードルが上がって苦戦している。まだ認定を受けていないトリミング学科、ドッグトレーニング学科は学科の再改編を軸に申請すべく、

準備に取り掛かりたい。

文科省が検討している新たな高等教育機関には専門学校を専門職業大学にするという構想もあり、職業実践専門課程はその第一歩。国の将来的展望にいつでも対処出来るよう万全の準備を怠ることなく、常に将来性のある専門学校を目指していきたいと思っている。

また、2018年問題に備えて将来の各学科の募集定員や社会のニーズにあつた学科・コースの改編ならびに教育内容を再検討する「将来構想検討会議」をもうけた。40周年を迎えてさらに発展するよう教職員が一つのベクトルに向かって努力していく覚悟だ。

学校一体でPRに取り組み



●玉野総合医療専門学校
平井 義一 校長

本校では、国家資格を取得することが最大の目標である。全4学科のうち保健看護学科は保健師と看護師の受験資格が得られるが、看護師国家試験では基本的に全国平均とほぼ同じである。作業療法学科の国家試験合格率はこの2年は100%で全員合格である。それに対し、理学療法学科は努力が必要である。この辺が問題であろうと認識している。

専門学校を取り巻く状況は厳しい。受験者数は漸減している。受験生を増やすには国家試験の合格率をせめて全国レベルまで上げないといけない。学校訪問、学校説明会ではこのデータを活用して説明する必要がある。資料作成でも従来の学科別ではなく、学校全体で作っていく方向に少し舵を切っていきたいと思う。

一方で、専門学校を専門職業大学とする動きもあれば、大学化を目指す動きもある。それに向けて努力をするという方向性もある。当面は理専と足並みをそろえて検討を続けていきたい。

理大附高アイススケート部

今季の戦績報告／来季に期待高まる

岩手県で行われた第71回国民体育大会冬季大会フィギュアスケート競技の少年男子で初優勝した岡山理科大学附属高等学校アイススケート部の小田尚輝選手（3年）と、団体準優勝の榎田一樹選手（1年）が2月9日、宮垣嘉也校長に今季の戦績を報告。来季に向けて一層の飛躍を誓いました。

小田選手は3年先輩の田中刑事選手と同じ倉敷芸術科学大学への進学が決まっています。（今季戦績は別表の通り）

小田選手は小学1年からスケートを始め、岡山国際スケートリンク（岡山市北区）で平日は1時間半、2時間、土日は3、4時間の練習をこなします。スケートの魅力を「ジャンプで下りた時の達成感と、いい演技が出来た時の喜び」と笑顔で話します。今季を自己採点すると「全日本は失敗したが、他はうまくまとめられた。全体で85点」と少々辛目。今後は「全日本選手権に毎年出場出来るよ



宮垣校長（中央）に今季の戦績を報告した小田（左）、榎田（右）両選手

小田君が国体個人優勝 榎田君は団体準優勝

岡山理科大学附属高等学校

大会名	小田尚輝	榎田一樹
岩手国体		
少年男子 個人	1位	10位
団体	準優勝	準優勝
全国高校総体		
個人	3位	5位
学校対抗	準優勝	準優勝
全日本フィギュアスケート選手権大会	21位	—
全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会	—	13位

ピア倉敷で1時間半、週末は兵庫県の西宮アイスアリーナで田中選手と一緒に汗を流しています。「新しいことにチャレンジし、それが出来た時が楽しい」と言います。「今季はいい場面も悪い場面もあった。来季は安定した演技を目指し、トリプルアクセルと4回転トゥーループを決めたい」と目標を掲げました。

先輩の田中選手は岩手国体の成年男子で初優勝しており、少年と成年の両方を制しました。ともに団体（選手2人の順位合計で争う）は準優勝でした。小田、榎田両選手は「岡山県学校体育表彰」と「岡山県高等学校体育連盟全国表彰」も受けました。彼らの活躍で「スケート王国・岡山」をさらにアピール出来そうです。

第14回百人一首大会を開催

岡山理科大学附属中学校の「第14回校内対抗百人一首大会」が1月22日、開催されました。古典に親しみ百人一首を覚えてもらおうと、開校当初から毎年行われている恒例行事です。クラス対抗戦、個人戦と白熱した勝負が繰り広げられました。

クラス対抗戦では3年生のスーパー選抜クラスが優勝、個人戦は、2年の山本青空さんが優勝、2年の湯浅茜里さんが2位、3年の久本真望子さんが、菅野凜さんが3位でした。

また、かるた部によるエキシビジョンマッチも行われ、技や速さに会場が沸きました。



岡山理科大学附属中学校

研修室

「異文化理解のための」 研修成果の発表会開く

事務系の若手職員を中心に行ってきた研修の成果発表会を12月24日、仕事納めの会に先立つ年末研修会として、千葉科学大学との2元中継で開きました。写真。

4月以降「異文化理解のために」をテーマにした研修では、広島県山県郡安芸太田町での民泊によるライト大学等からの研修団の受け入れ同行▽KAKE国際祭りでの国際屋台運営補助▽加計学園杯日本語弁論国際大会決勝大会の運営サポートに取り組んだほか、日本語弁論大会のミヤンマーとマレーシアの2地区予選では審査員も務めました。

各メンバーは研修を通じて感じたことや自らの課題などを率直な言葉で表現し、研修成果をアピールしました。反応も上々



で、会場で行ったアンケートには今後に期待する声が多く寄せられました。研修活動の中で問題点を見つけ出し、解決していくという、一連の活動について自分たちで成果を発表する——というものでした。今回の研修に参加した各設置校等からの22人の若手職員が、学園職員として大きくはばたいてくれることを期待しています。



倉敷芸術科学大学

力作ぞろいの「芸術学部卒業制作展」

倉敷芸術科学大学の「芸術学部卒業制作展」写真①が1月19日、24日、倉敷市立美術館で開かれました。今年度の加計勉大賞を受賞したデザイン学科(空間デザイン)・小島弓佳さんの作品「つつこめるん」が思わず片力作に見入っていました。



ホームカミングデー初開催

「学生の目が輝いていた」 当時の教授陣が草創期語る



た。日本芸術院会員の蛭田先生は「創立2年前から芸術学部の開学準備に加わりました。日本のトップクラスを集めたのが誇りです」と話し、卒業生に「単なる技術の修練でなく内面を掘り下げ制作してほしい」と激励しました。ローマから帰国し就任した高橋先生は「100号のキャンバスに自由に描く課題を与えるなど自ら学びとる教育をしたつもり。夜はよく飲んで語り合いました」。倉敷ガラスを手がけた小谷先生は「一緒に学んだ学生たちの目が輝いていました」と、活気に満ちた学生の様子を語りました。東映の映画監督を経て就任した小西先生は「カメラを調達し映像演習をしました。映像コース以外の学生の中にも映像感覚の優れた学生がいて驚いたことがあります」と回想。田村先生は「古いものを学ばずして新しいものを学ばせんと卒業生にエールを送っていました」。



危機管理シンポで白熱した討論

災害時 命をどう守る

千葉科学大学

千葉科学大学危機管理システム学科が主催する「危機管理シンポジウム」が2月13日に開催されました。写真。国内外で活躍する危機管理の専門家によるセッション討論や、本学の篠塚保・客員教授（元外務省国際テロ対策等担当大使）による基調講演などが行われ、

大学生をはじめ一般市民が参加しました。突然の災害時、自分の命を守るためにどこへ逃げるべきか。負傷した時、どこで適切な治療を受けられるのか。食べ物や水はどうすれば手に入るのか。東日本大震災で日本人が味わった苦しみや悩みの解決策について、白熱した討論が行われ、学生や市民らは真剣な表情で聞き入っていました。

「夢に向かって頑張れ」鉄人・福元さんを迎えてマラソン大会

英数学館第36回マラソン大会が晴天に恵まれた2月10日、開催されました。小・中・高

合同で毎年行われ、今年もゲストに広島県三原市出身の著名なトライアスリート、福元哲郎さん（43）をお迎えしました。福元さんは、「子供たちに『本物』を感じてほしい。そして、自分の夢を追うことの大切さを伝えたい」との願いを込めて、生徒と一緒に走り、ゴールでは、全力を出し切った生徒たちをハイタッチで迎えました。生徒たちは1月からの約1カ月間、この日のために毎日練習をしてきました。大会の最後には福元さんにサインをもらって記念撮影。写真（中央が福元さん）。福元さんから「本当に頑張った人は表情に出さない。表情に出る人はまだまだ頑張れる人。これからの夢に向かって頑張るとの言葉を贈られ、生徒たちは表情を引き締めていました。



広島加計学園

1年生がスキー・スノーボード実習



吉備高原学園高等学校の1年生105人が2月12日、日帰りで岡山県真庭市の「蒜山ベアバレースキー場」で、スキーとスノーボード実習を行いました。

スキー組とスノーボード組でほぼ半数に分かれ、インストラクターの指導を受けながら、最近のウインタースポーツ離れの影響か、約8割が未経験者で雪山に行ったことさえない生徒も多かったのですが、この実習で何とかゲレンデを滑り降りることが出来るようになりました。何事も経験が大切です。

吉備高原学園高等学校

「おつかれさま！」

実習犬6匹の卒業式

岡山理科大学専門学校で学生たちの実習犬を務めてきた犬6匹の卒業式Ⅱ写真Ⅱが2月10日に行われました。2年間慣れ親しんできた犬と離れる生徒たちは記念撮影するなどして、別れを惜しんでいました。

理専では毎年春、生後約半年の子犬が訓練士などを目指す生徒と一緒に「入学」し、2年間学内で飼育。ドッグトレーニング、動物看護両学科の生徒がしつけや健康管理法などを学ぶのに貢献してきました。6匹はラブラドルレトリバー、シェパード、日本スピッツなど。一部は希望する生徒の中から面接をパスした生徒の家庭へ



引き取られますが、多くは一般家庭のペットとして暮らすこととなります。卒業式では村岡正校長が卒業証書を1枚ずつ首にかけていきました。生徒らは「毎日一緒だったので寂しい」「犬たちにお疲れ様と言ってあげたい。これから毎日楽しく過ごしてほしい」などと労をねぎらっていました。

パパ、ママ見てね！「みんなの発表会」開催

御影インターナショナルこども園では、この1年間で成長した園児たちの姿を保護者の皆さんに見ていただく「みんなの発表会」を2月20日、遊戯室で開催しました。

御影インターナショナルこども園では、この1年間で成長した園児たちの姿を保護者の皆さんに見ていただく「みんなの発表会」を2月20日、遊戯室で開催しました。

練習の時とは違い保護者の方が見ていると、これまで一番の笑顔と声で声援に応えていました。また、年少・年中に当たる3歳児・4歳児クラスは、セリフをすべて英語でしゃべり、日頃英語イマージョンで培った英語力を発揮し、更にピアノや木琴・鉄琴、タンバリンなど楽器を使った演奏も披露しました。



御影インターナショナルこども園

目指せ全員合格！ 4年生が祈願

玉野総合医療専門学校
玉野総合医療専門学校
の保健看護、理学療法、作業療法3学科の4年生が1月21日、国家試験合格祈願で由加山蓮台寺(倉敷市)に参拝しましたⅡ写真Ⅱ

を学び、学んだ事を生かすため資格試験に合格して医療人として活躍して下さい」と激励。ご祈禱では学生全員の氏名が読み上げられ、みんな表情を引き締めました。

祈禱後は、おみくじに一喜一憂したり、絵馬に「全員合格」と書いたりする姿も。もうすぐ本番。目指せ全員合格！



波田学長に山陽新聞賞(教育功労)

地域社会の発展に著しく貢献した個人・団体に贈られる「第74回山陽新聞賞(教育功労)」を岡山理科大学の波田善夫学長が受賞しました。加計学園関係者の同賞・教育功労の受賞は加計勉・名誉理事長(第45回)、加計美也子・順正学園理事長(第61回)、加計孝太郎・加計学園理事長(第67回)らに続いて7人目です。

波田学長は「岡山県内16大学による『大学コンソーシアム岡山』の会長を務め、2008年以降2期8年間の務め、大学間の単位互換制度の構築、社会人向け市民講座の充実など地域の教育力向上にも寄与した」(山陽新聞)ことが評価されました。表彰式は1月7日に

地域貢献に高評価



「元気な理大」で町も元気に

行われました。

広島市出身で広島大学理学部生物学科卒業後、

1972年に理科大へ。総合情報学部長、副学長を歴任し、08年に第7代学長に就任しました。専門は植物生態学で、フィールド・ワークをこの上なく愛し、貴重な植物が自生している「鯉ヶ窪湿原」(新見市哲西

町)や「ヒイゴ池湿地」(総社市)の保護運動にも取り組んだ行動派です。

「学長になって岡山経済同友会に出席し、経済界の人達と話す機会が出来て、改めて地域における大学の役割を意識するようになった」と言います。「それまでは研究者として地元とか、郷土とか、あまり気

にせずやってきた」のが、「会社の社長がビジネスじやなく、教育について真剣に議論しているのを見て驚いた」。自ら講演に向向き、経済人を招いた企業情報特論も。そんな交流の中で実感したのは「理科大学が元気がないと岡山市も元気にならない」。

「岡山でキラリと光る大学」を掲げ、08年には科学イベントに学生や教員を派遣して実験の手伝いをする「科学ボランティア」を立ち上げました。教員から出てきたアイデアです。マスコットキャラクター「たんQくん」シリーズを打ち出し、14年には生物地球学部

志願者数6割増

こうした元気アップ作戦と歩調を合わせるように受験者数も急上昇。08年に4005人だった志願者は11年4691人、12年5817人、13年6030人、14年6305人、15年6828人と、学長就任当初より6割増えました。

最初は緑色の理科大ジャンパーを少し恥ずかしがっておられた教員も、今では堂々たるもの。「たんQくんのグッズが欲しい」と希望が殺到する状態です。「理科大が元気じゃなか

ったら、この賞はなかったと思う」と満面の笑みを浮かべました。

柳澤体制に大いに期待

4月には柳澤康信・前愛媛大学学長にバトンを渡します。「これまで大学運営が忙しくて行けなかった6月の北海道に行きたい。北国の春にはいろんな花が咲き始める」と目を細めます。

「岡山県の野生生物目録を土台にした絶滅危惧種の改訂作業があるし、鯉ヶ窪湿原の長期モニタリング継続もある。自分が住んでいる赤磐市ではどの地域でどれを保護する必要があるのか、提言も必要だ」。まだまだ多忙な毎日が続きそうです。

「一般の人に分かりやすい植物解説も作ってみた。アイデアはたくさんあるが、最優先は大学の経営をはばたかせること」。柳澤体制に大いに期待を寄せているひとりです。

お知らせ

学校法人加計学園及び広島加計学園、吉備高原学園のニュースをお伝えする「KAKE NEWS」は3月、5月、9月、11月に、また順正学園を含めた加計グループ全体のニュースを網羅した「KET-HY」(ケティ)は1月と7月に発行しています。

◆ ◆ ◆
本号はページ数を倍増してお届けします。レイアウトもリニューアルしています。一層充実した紙面に作り努めます。ご期待下さい。



学校法人加計学園

〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1
TEL.086-256-8403 <http://www.kake.ac.jp/>

Okayama University of Science
岡山理科大学

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ous.ac.jp/>

Kurashiki University of Science and the Arts
倉敷芸術科学大学

〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640
(URL) <http://www.kusa.ac.jp/>

Chiba Institute of Science
千葉科学大学

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3
(URL) <http://www.cis.ac.jp/>

OUS Specialized Training College
岡山理科大学専門学校

〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
(URL) <http://www.risen.ac.jp/>

Tamano Institute of Health and Human Services
玉野総合医療専門学校

〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20
(URL) <http://www.tamasen.ac.jp/>

Okayama University of Science High School
岡山理科大学附属高等学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.ridaifu.net/>

Okayama University of Science Attached Junior High School
岡山理科大学附属中学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1
(URL) <http://www.kake.ac.jp/~info-j/>

Mikage International Kindergarten
御影インターナショナルこども園

〒658-0047 兵庫県神戸市東灘区御影2-15-27
(URL) <http://www.kakemik.jp/>

Eisugakkan Elementary, Junior and Senior High Schools
英数学館小・中・高等学校

〒721-8502 広島県福山市引野町980-1
(URL) <http://www.eisu-ejs.ac.jp/>

Kibikogen Gakuen Senior High School
吉備高原学園高等学校

〒709-2393 岡山県加賀郡吉備中央町上野2400
(URL) <http://www.kibikogengakuen.ed.jp/>